

電 力 情 報

NO. 87

平成 21 年 3 月 24 日

東 北 電 力 (株)

2 月分の電力需給実績について

1. 電力需要について (表 - 1 参照)

2 月分の販売電力量は、68 億 2,100 万 kWh、対前年比 88.6% の実績となりました。これを用途別にみますと、以下のとおりです。

○ 特定規模需要以外の需要 (自由化対象以外のお客さま)

電灯は、検針期間日数が前年より長かったものの、気温が高めに推移したことによる暖房需要の減少などから、対前年比 99.8% の実績となりました。

特定規模需要以外の需要の合計では、対前年比 98.0% の実績となりました。

○ 特定規模需要 (自由化対象のお客さま)

業務用電力は、暖房需要の減少などから、対前年比 95.7% の実績となりました。

特定規模需要の合計では、対前年比 82.6% の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

[参 考]

○ 大口電力

大口電力は、世界経済の急激な悪化や円高による減産影響などから、対前年比 72.3% の実績となり、4 カ月連続で前年実績を下回りました。

2．供給力について（表 - 2 参照）

2月の発受電電力量の合計は、71億100万kWhとなり、対前年比85.1%、対計画比89.5%の実績となりました。

（自社水力）

一時的な融雪により出水が増加したことなどから、出水率134.1%の豊水となりました。

発電量は、前年渇水の反動増により、前年を1億7,800万kWh上回る6億5,200万kWhとなりました。

（自社火力）

需要の減少などにより、発電量は前年を12億3,700万kWh下回る35億500万kWhとなりました。

（自社原子力）

女川原子力発電所1号機および3号機などの前年度との運転状況の違いにより、発電量は前年を8億200万kWh下回る13億100万kWhとなりました。

（他社受電）

他社火力の受電量が減少したことなどにより、他社受電合計では前年を3,100万kWh下回る22億5,900万kWhとなりました。

以 上